

Vectorworks® 2013

What's New 新機能ガイド





Courtesy of junya.ishigami+associates

EVOLVE ~進化~

Vectorworks®2013 は、設計業界の変化に合わせた進化を遂げました。

今、設計・デザイン業界全体が、大きく変化しています。Building Information Modeling (BIM) は、建設・建築業界に革命をもたらし、クラウドテクノロジーは、ライフスタイルはもとよりデザイナーの仕事にも自由と利便性を与えています。そして競争的な経済では、ビジネスで勝利するために画期的で新たな手法やプレゼンテーションの必要性が求められています。

もし、あなたがBIMを利用した建築家であっても、ECOに配慮するグリーンデザイナーであっても、革新的な光を操るエンタテインメントデザイナーであっても、常にその先を求め、進化 <EVOLVE> し続けていることを私たちは知っています。手法やアプローチが進化するにつれ、使用するツールも、そのクリエイティブなビジョンを実現するために進化する必要があります。Vectorworks2013 は、それぞれのデザイナーに必要なワークフローを把握し、無駄な手順を省き、直感的で、革新的なデザインができるように進化しました。

さあ、新たなページを開き、あなたのデザインを、ワークフローを進化させてください。Vectorworks2013 と共に。

Vectorworks® 2013

搭載された主な新機能

[全製品]

画面のパン移動 / ズーム時描画の向上
透視投影ビューのフルスクリーン化
陰線レンダリング速度の向上
クリップキューブ機能
より自然な移動が可能なウォークスルー
「回転」ツールのフィードバックアイコン
Parasolid®ベースになった屋根
簡単になった屋根面へのドーマー / トップライト挿入
再設計され、高速化された壁機能
ドア / 窓へのデータベース検索対応
ハイパーリンク機能
Windows エクスプローラ上でのイメージプレビュー対応
リソース化され、より使いやすくなった線や破線
黄金比の四角形作成機能
植栽 / 補床も整列可能な引出線の整列機能
上下関係を設定できるシートレイヤ
クラス設定のツリー表示化
DWF フォーマットの取り込み対応
Rhinoceros®フォーマット (3DM) の取り込み / 取り出し対応
DWG への Vectorworks3D→2D 図形取り出し
複数の DXF/DWG ファイルを一括取り出し
回転体の分割数が設定可能な DXF/DWG の取り込み
True Colors (RGB)、インデックスカラーの DXF/DWG 取り出し対応
DXF/DWG 取り込み時のハッチングの検出機能
全ての製品で使用可能になった CINEMA4D 取り出し
[リソース] ライン (線分) タイプ
[リソース] ハイパーリンクシンボル

[D/A/L/S]

カーテンウォールや繰り返し構造体が作成可能な 2D/3D の面配列機能
断面ビューポート内プレイナー図形の表示
オートハイブリッド機能
詳細ビューポートの作成機能
断面ビューポート詳細設定から作成可能なクラス
ワークシートのイメージ対応
ダイナミックデータ更新できる ODBC 接続
[リソース] ワークシート対応のイメージ付き一覧表 / ラベル
[リソース] 詳細引出線マーカーの詳細シンボル
[リソース] ドア / 扉の形状スタイル
[リソース] PANTONE® COLOR BRIDGE® の新色 336 色 (Coated/Uncoated) カラー

[D/A/L]

3D ビューでも使用できるドアと窓の ID ラベル
ドア幅に対応した沓ずり幅
増設可能になったドアと窓の抱き
複数選択でも編集可能になったドアと窓
新しい枠機能でより複雑な形状が可能になった窓
内外両方に設定できるようになった窓よりの戸幅
シンボル取り込み用のクラス詳細設定
地形ソースデータ取り込みの改良
クラスで表示属性を指定できる地形モデル

[D/A]

ワンクリックでも生成可能なスペース
壁からワンクリックで作成できるスラブ
階段手摺編集ダイアログの改良
シンボル図形への IFC 情報追加機能
スペース情報リストの取り込み、書き出しによる柔軟性強化
gbXML ファイルの取り出し対応
IFC ソリッドの BREP 取り出し対応
[リソース] 最新の Herman Miller® システム家具 / 什器 *
[リソース] 装飾照明やレール式可動照明の光源付きインテリア照明 *

[D/L]

再設計され、より軽快になった「植栽」ツール
法面から自動作成できる造成面
新しい表示方法を採用した切土 / 盛土
さらに自然な表現になった植栽オブジェクト

[D/S]

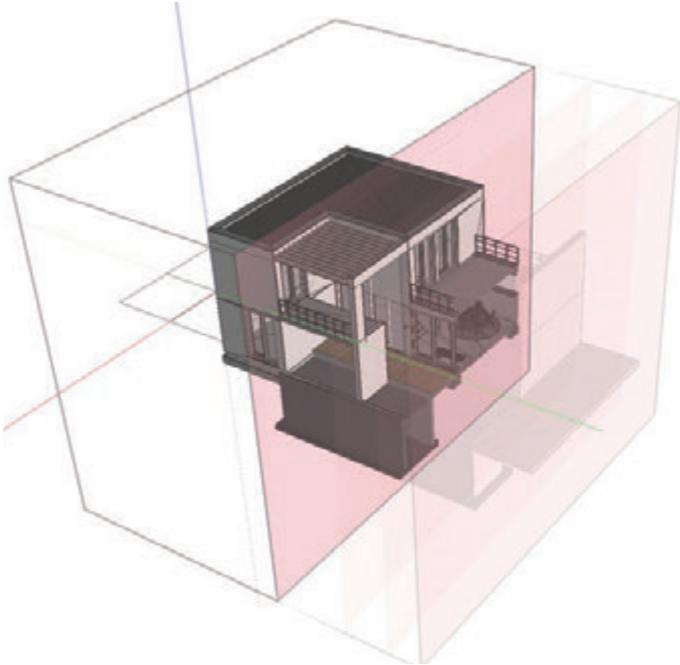
再設計された Lighting Device 設定パラメータ
Lighting Device オブジェクト動作の高速化
Lighting Device 色のクラス設定
新搭載の「スピーカーアレイ」ツール
[リソース] Selecon/High End 等、舞台設計用の最新照明器具シンボル *
[リソース] InLight gobos 社製、舞台照明用 GOBO *

[R]

FBX と COLLADA™ ファイルの取り出し
バックグラウンド処理化されたレンダリング
新搭載、フィジカルスカイ機能
木 / 床 / 石 / 建築建材等の Arroway® Textures 高品質テクスチャの搭載
[リソース] フィジカルサン / フィジカルスカイに対応した自然光
[リソース] 水 / ガラス / メタルのハイクオリティテクスチャ
[リソース] 標準リソースに含まれない Arroway® Textures 追加テクスチャ *

* マークは、Vectorworks サービスセレクト契約者限定提供リソースです。

EVOLVE WITH VECTORWORKS 2013



クリップキューブ機能 [全製品]

3DモデルをCTスキャンにかけたように、自由にカット表示するバーチャルBOXが、クリップキューブ機能です。立方体に囲われた3Dモデルは上下左右前後、どの面からでも断面をマウス操作でき、自由に見ることができます。

パン/ズーム描画の向上 [全製品]

図面上での移動時のスピードが飛躍的に速くなりました。2Dや3D表示でのパン操作や、ズーム機能は見直され、グラフィックの再描画は大幅に高速化。さらに、回転中のOpenGL、3Dワイヤーフレーム描画速度も向上しています。

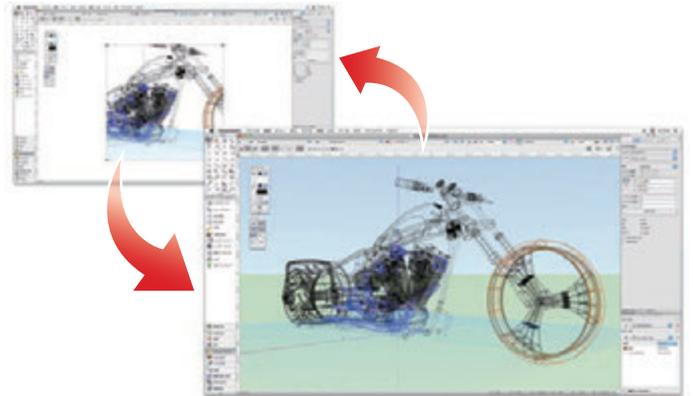


より自然な移動が可能なウォークスルー [全製品]

ウォークスルーで、モデルが画面の奥に飛んでしまったり、視界から消えたりすることもなくなります。新しい「ウォークスルー」ツールでは、モデルの内部の移動時に、より自然に予測可能な位置へと誘うインタラクティブな移動体験を提供できるよう進化しました。

透視投影ビューのフルスクリーン化 [全製品]

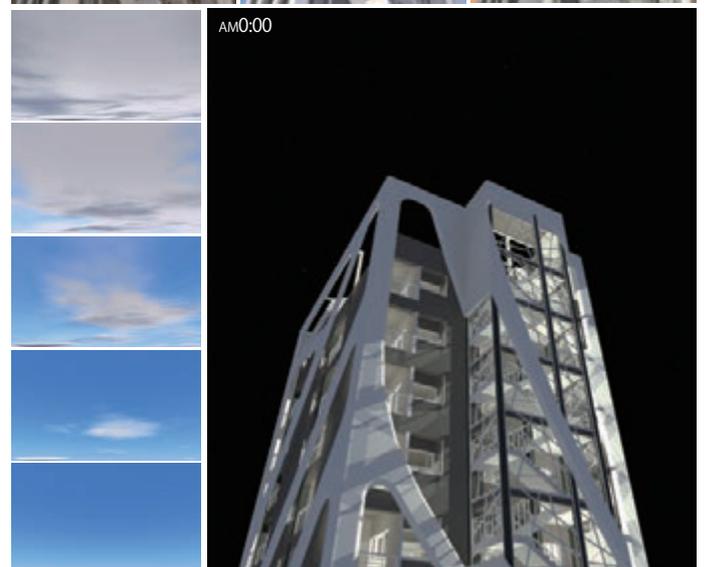
モデルを透視投影ビューにした際、フルスクリーン表示でき、より直感的に作業できるようになっています。「レンズを選択」コマンドには、枠付きの表示か、フルスクリーンの表示をするかを変更する「クローズ」(枠付き)コマンドが追加されました。さらに、「視点を移動」ツールには、前進/後進と上下の視点調整オプションが追加されました。



新搭載、フィジカルスカイ [R]

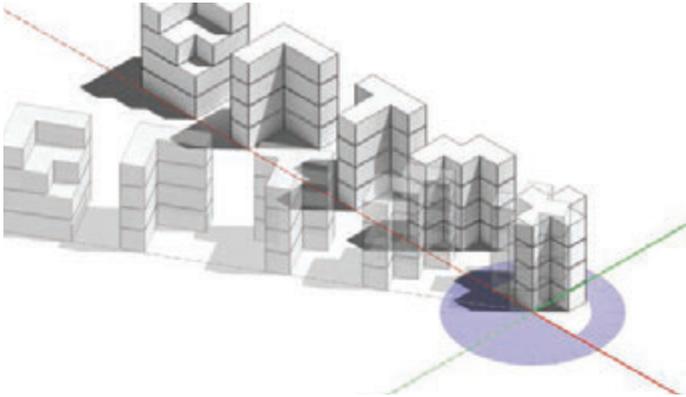
より自然な空を再現するためにフィジカルスカイ背景機能が搭載されました。快晴から曇りまでの5つの天候から選択するだけでどこまでも続く背景が設定できます。さらに、Architectなどのデザインシリーズに搭載されている「太陽光設定」の時刻に連動し、朝から夜までの時間帯を再現、建物への光量や陰、反射にも反映します。

※時刻に連動した空の再現機能は、Fundamentals with Renderworksには搭載されていません。



「回転」ツールのフィードバックアイコン [全製品]

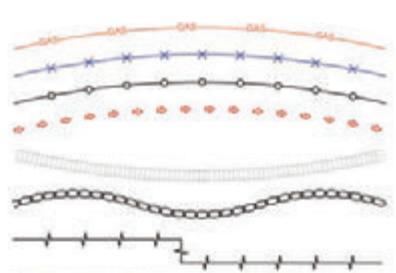
「回転」ツールでは、図形の回転時のグラフィカルフィードバックが強化され、分度器のプレビューが回転の中心、回転軸、回転レバーを解りやすく表示します。この方法で、選択したもに対し、回転角度をインタラクティブに適用させることが可能です。



リソース化され、より使いやすくなった線や破線 [全製品]



破線やカスタムのラインタイプがリソース扱いになり、簡単に作成したり、共有できるようになりました。一度作成した線や破線を基にして、繰り返しパターンで作成したり、チーム内で標準化にすることができます。



FBXとCOLLADA®ファイルの取り出し対応 [R]

3D 互換機能も大幅に向上しています。COLLADA や FBX ファイルは、3Dアプリケーションやゲーム開発で多く使われているフォーマットです。3ds Max や Maya、CINEMA4Dをはじめ、Google Earth や SketchUp など、多くの 3Dアプリケーションにデータを渡すことができます。

gbXMLファイルの取り出し機能 [D/A]

gbXML (Green Building XML) に直接対応することにより、建物の情報をさまざまなエネルギーモデリングソフトやシミュレーションソフト、解析アプリケーションに渡し、より高度で専門的な建築設計が可能となります。



Windows エクスプローラ上でのイメージプレビュー対応 [全製品]

Windows 版には、Vectorworks 用の Explorer プラグインが搭載されました。ファイルをエクスプローラで表示したときに、ファイルのイメージプレビューまたはアイコンを表示し、ファイルの詳細を確認できるようになりました。さらに、Vectorworks ファイルに含まれている文字列を Windows 側で検索することも可能です。



Parasolid® ベースになった屋根 [全製品]

屋根オブジェクトを Parasolid® モデリングカーネルをベースに再設計しました。大幅に向上した性能により、全ての屋根の設定や修正の信頼性が格段に向上しています。

簡単になった屋根面へのドーマー / トップライト挿入 [全製品]

簡単に屋根面へのドーマーやトップライトの挿入ができるようになりました。わかりやすく、詳細に設定できるダイアログで、挿入形状に沿って、設置面に対する各種サイズや細かな距離、角度などを簡単に設定することができます。



詳細ビューポートの作成機能 [D/A/L/S]

新しい「詳細ビューポートを作成」コマンドでは、図面番号とシート番号を自動で参照し、調整するマーカー付きの平面図、立面図、そして断面図の詳細なビューを自動作成します。これにより、全体図面からでもどの詳細図 (ビューポート) と連動しているのか、把握しやすくなります。

全ての製品で使用可能になった CINEMA 4D 取り出し [全製品]

これまで、with Renderworks 製品だけでしか利用できなかった「CINEMA 4D (3D)」取り出し機能と、「CINEMA 4D へ送信 (3D)」コマンドは、Fundamentals を含めた Vectorworks 2013 全ての製品でご利用いただけるようになりました。

Rhinoceros® フォーマット (3DM) の取り込み / 取り出し対応 [全製品]

製造業界で多く利用されている 3D-CAD、Rhinoceros® フォーマット 3DM ファイルとの互換を実現しました。Vectorworks と Rhinoceros との間でデータを自由にやり取りし、作業することができます。



DWF フォーマットの取り込み対応 [全製品]

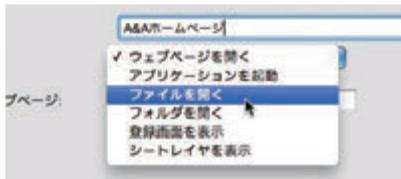
Vectorworks 2013 では、これまでの DWG、DXF に加え、DWF ファイルの取り込みが可能になりました。単一ファイルはもちろん、DWG、DXF 同様に複数ファイルの取り込みも可能です。

VWX 取り出しの低位 6 バージョン対応 [全製品]

Vectorworks の低位互換がさらに広がりました。v2012 形式から、v2011、v2010、v2009、v2008、v12 形式まで、Vectorworks 2013 の図面データを低位 6 バージョンまで取り出せます。まだ、バージョンの古いチームメンバーや外部取引先との連携もスムーズに進められます。(v12 へは .mcd で取り出されます。)

ハイパーリンク機能 [全製品]

Microsoft Officeシリーズをはじめ、様々なソフトウェアで利用されているハイパーリンク機能がVectorworksにも搭載されました。図面上にウェブサイトのアドレスを埋め込んだり、関連するファイルなどを呼び出したりと、必要な情報やファイルを関連付けることができます。



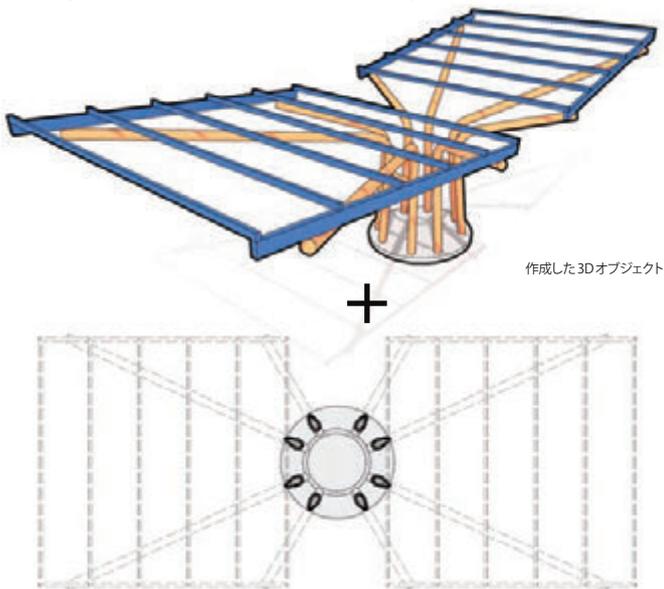
クラス設定のツリー表示化 [全製品]

階層を持つクラスグループを「オーガナイザ」と「ナビゲーションパレット」で、ツリー表示できるようになりました。任意のクラスグループをまとめて非表示にすることも可能です。



オートハイブリッド作成機能 [D/A/L/S]

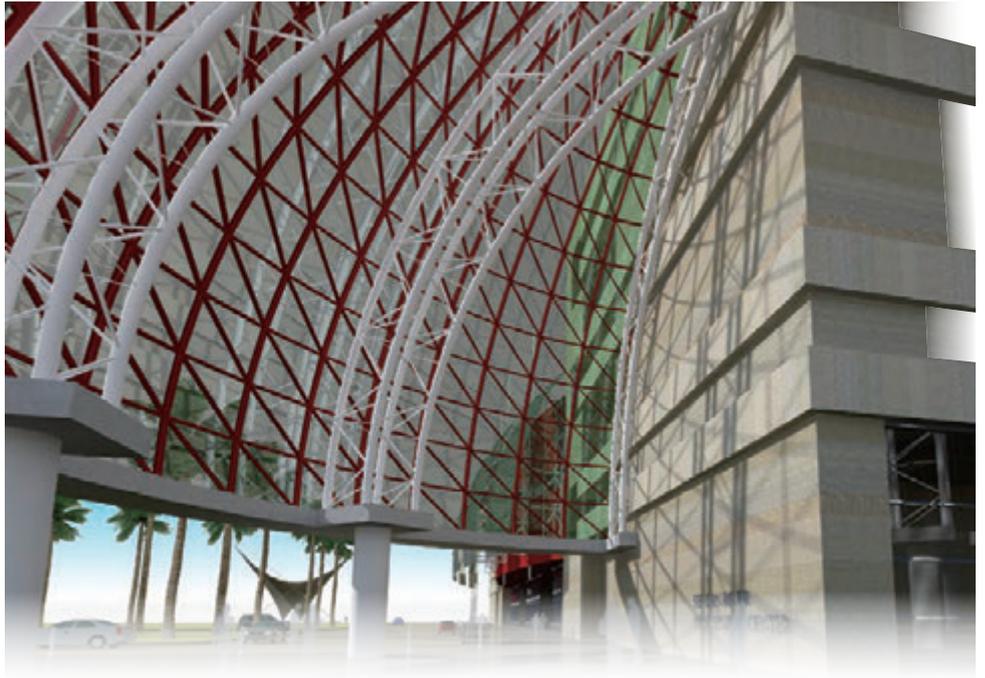
新しい「オートハイブリッドを作成」コマンドは、簡単かつパワフルに、3Dオブジェクトに2D表示を追加し、ハイブリッドBIMオブジェクトへと変換します。この機能は、パワフルな3Dオブジェクト編集を維持しながら、必要な2Dオブジェクト表示を自動的に生成、2Dの表示についても細かく設定することができます。



自動生成された2Dオブジェクト表示

カーテンウォールなどの作成が可能な面配列機能 [D/A/L/S]

「面配列を作成」コマンドは、驚異的な3Dモデリング能力をあなたにお届けします。この新しいコマンドによって、プレーナー図形上、またはNURBS曲面上に、2Dや3Dのジオメトリを面に沿って複製することができます。例えば、カーテンウォールやアトリウム構造体、スタジアム等のトラス構造体、または、あなたが想像しうるその他の配列モデルを簡単に作成することができます。



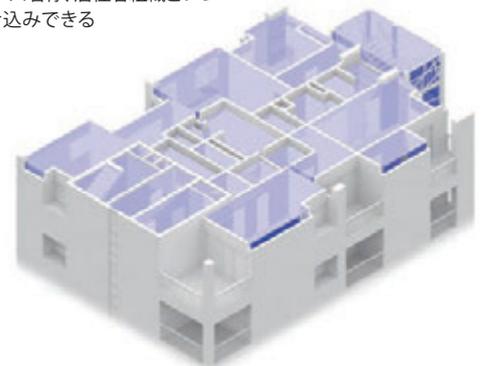
ワークシートのイメージ対応 [D/A/L/S]

ワークシートに、オブジェクトイメージを追加できるようになりました。オブジェクトサムネイル、2D属性サンプルのどちらでも使用でき、サイズやビュー、レンダリングモードなど、自由にカスタマイズできます。計算式によって集計したオブジェクトイメージを表示させることも可能です。

	0	8	0	9296	9754
					
W-01			914	1219 B	
					
W-02			1524	1219 P	

進化したスペースオブジェクト [D/A]

スペースをさらに効率よく、そして便利に作成、更新、編集できるようになりました。新しい壁選択モードによって指定した壁からスペースを作成できます。自動-境界線スペースでは、壁が移動、変更された場合でも自動で境界線を調整します。さらに、部屋仕上げ、スペース名称、居住者組織といったリストを読み込み、書き込みできるように改良されました。また、スペースの高さは、ストーリー(階高)設定に連動するようになり、ストーリーの階高が変更されるとスペースの体積も自動的に調整されます。



Arroway® Textures 高品質テクスチャの搭載 [R]

最高品質を誇るテクスチャブランドの1つ、Arroway Textures テクスチャを追加しました。木製化粧板、コンクリート、床材、石積み、タイル、建設資材などを標準リソースから使用できるようになりました。また、高品位のガラス、12種類もの水テクスチャも追加され、標準リソースから利用できます。



バックグラウンド処理化されたレンダリング [R]

複数のコアを持つ高速な CPU では、より時間が有効に利用できるよう。シートレイアウトポートや、レンダービットマップでのレンダリング処理はバックグラウンド化され、レンダリングしながら作業を続けることができます。

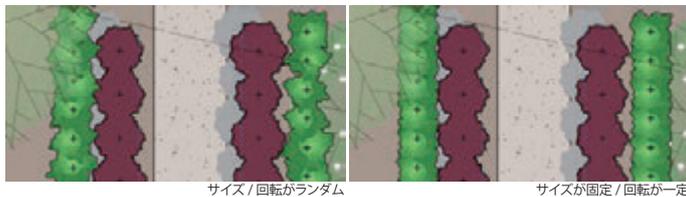
再設計され、より軽快になった「植栽」ツール [D/L]

植栽設定と植栽定義のダイアログボックスは、再設計され、より見やすく、軽快で使いやすくなりました。造園、庭園、公園、緑地計画などの作成や編集が簡単に行えます。



さらに自然な表現になった植栽オブジェクト [D/L]

植栽オブジェクトのより自然な表現ができるように、植栽群内の個々の植栽をランダムにサイズ変更、向き変更することができるようになりました。



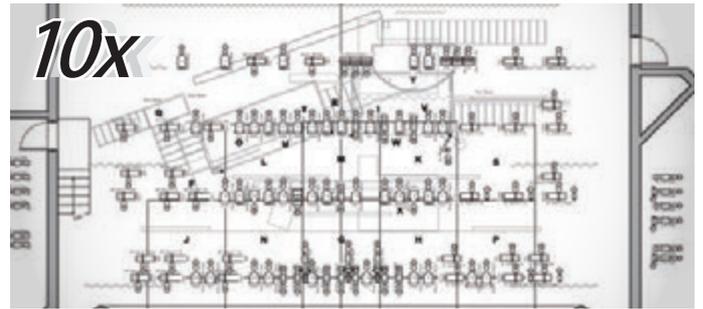
新搭載の「スピーカーアレイ」ツール [D/S]

新たに Landru Design 製スピーカーオブジェクトが追加され、さらに複数のスピーカーを組み合わせる「スピーカーアレイ」ツールを搭載しました。スピーカーシステムレイアウトの図面作成や、音響の有効範囲の分析などを簡単にできるようになりました。



Lighting Device オブジェクト動作の高速化 [D/S]

Lighting Device オブジェクトは再設計により、性能と速度を強化しました。バージョン 2012 と比較して、リセット操作や再描画の速度がおおよそ 10 倍速くなっています。



Vectorworks 2013 ラインナップ

Vectorworks 2013 では、新たに土木造園デザイン製品の「Vectorworks Landmark シリーズ」、ステージ & ライティングプランニング製品「Vectorworks Spotlight シリーズ」が加わりました。





動作環境 (記載の動作環境は、2012年12月7日現在のものです。)

Windows XP (SP3以上)、Windows Vista (SP2以上)、Windows 7 (SP1)

※64bitOSを推奨

Pentium 2GHz以上のプロセッサ

QuickTime 7.7.0～7.7.2のみ

Mac OS X Snow Leopard (10.6.8以上)、Lion、Mountain Lion

Intel Core 2GHz以上のプロセッサ

QuickTime 7.0以上

共通事項

推奨4GB以上の搭載メモリ(最小1GB以上/with Renderworksは最小4GB以上)

※with Renderworksシリーズの利用、または、64bitマシンで複雑な図面編集の場合は8GB以上を推奨

10GB以上のインストールHD空き容量

1280×800以上のモニタ解像度(グラフィックボード搭載)

※グラフィックボード VRAM：推奨1GB以上(最小512MB以上)

DVDドライブ(2層式)

アクティベーションのためのインターネット接続環境

※ご使用OSはインストール時にWindowsかMacを選択できます。



エーアンドエー株式会社 www.aanda.co.jp
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-15
TEL 03(3518)0131 | FAX 03(3518)0122

Nemetschek Vectorworks, Inc.
7150 Riverwood Drive, Columbia, MD 21046-1295 USA
www.vectorworks.net
T 410-290-5114 | F 410-290-8050

©2012 Nemetschek Vectorworks, Inc.
Vectorworks and Renderworks are registered
trademarks of Nemetschek Vectorworks, Inc.